

実践作家 平成仙人

平成仙人 乱世に警鐘

夢じ地震ノ火山爆発予知ノ

日本のは何処へ

いどめられはこそ道一く

オ一話

育てる絶好幾になる!

いどめられ小た芽 井を次の道に迷わぐ!

現在の下界には人向と一々考えられたい。

少年による事件也。己の私利私欲の為に

手段を選ばないノ不祥事が多発しんおります

ノ下界の良民はノさが悔しい思ひんおられる

事と思ひますノ

早くこのようぢなノ痛きノ事がおきないよ

うな社会にばっんノはノいとノ頼んおられ

る事ば一と一!

私もそのひとりと致しんノいやいやノ

子どもノ気持ちにばっんノまた仙人と呼ばれん

いる立場からノ大自然のノ人間にとっし生き

た教科書とノそれいゝノ森ノなかば子ど

も達とノあるいわノ弱者と寝起きを及しした

活動のなかから培ったノ実践体験談を語り

しくま〜い！

私が現在の森にこきしえもらう前にも、名古
屋市森山に森に一年間住み、木の上には私が
寝れる位の部屋を作くり、木の上、十メートル
に住み、金も竹もつくった。道場へ修行をさせ
てもらった。おりまゝだが、一寸した、誰かの
くひ違ひから、今へ言うところ、いじめをこの
寺の人に受けるよとにちなり！

正月の元日の朝である。

朝一番にこの寺に新年の挨拶に行き、

「おはようございませす。寺の女性で六十才位
ですかな。おんこられ、私より目の位置は、
高いところだ。私は火の女の顔たけで
すが、ここまですぐ女々しく怖れ顔になるも、か
この顔は心に悪魔が入った。人の心を
もつ、人向はなくなっている。と私は心に
刺した。私は素早く心を元に戻し、私り今も
工場を考へん。

新年明けましておめでとうございませす。
今年もよろしくお願ひ致します。

寺の方ですから。正月位は、人間らしい言葉があるものと思っくんおりました。

私の心は無残にもうごをられ、私を覗む顔からの出たことばが、「いつ出入行くのし

この言葉だけで、私を覗みフケた。

私は悔しくん、反論したいが、かえっん事を大きくするだけだ。思ひ止まるし、同様に涙が出たうになさるが、しかしこのようだがない者、前へは死んでも弱みは見せられたい。私が子どもだったら！

これが人様のために携わる大人の正体か。大人よ、正しい手本をふれせよ。

大人に学ぶことは何一つもない。私の心は大きく傷つを、この後は、下界の人たちが、どんな人様の煮にと、いつてもっともらしい組織の集まり団体名を、着振にしん活動を行っん人も私は信用しなくなりました。

私が人を信用する、出来ない、のを見る技を話しましやう。

4
次の人によっぺん違ふと思ひます。

相手が、口に出した言葉と、行動を見入れば、次の者の心が見えなきます。良く、しやべる者は、あまりにも、色々と口に出のべ、何れを、しやべったかを、忘れぬ、まうの、です。尤、このような者も、要注意心ござるナ、平成六年の三月に、名古屋市内の、屋台ラーメンを食べ、人、いつ、時に、私に話、よっぺんを、た、三イ代の男性が、

「清ません、お宅は何に屋さんですか」と。

「南いんをた、」

私ですが、剣道家と、タレントも少々やっ人おりますが、現在は山に住んでおりますが、ですが、いま、新しい山を探が、います、が、良い話があったら、知らせて下さるかな、

「丸うべ、たか、普通の人ではないと思ひ、声をかけ、みたりですが、ではテレビの方、は、出、いますか、」

まあ、ちよこちよこことですナ、私の方から

は売り込みはし人おりません、で、金人受け
後でござる。

「ネー、ジムがいたら生活が豊かになるべし
そうなの、。

「僕がいる事務所所の先生が、不動産も少々手
かけ人おりますので、一度案内せましよう、
し

翌日に会う事になり、諺を聴いみせると
豊道市に山を少々持つ人いるから、先こを使
かっ人良ッ、先水じや明日現場へ行ッ、み

るか、時間はとれるかな、し

先のような諺、あ水ば、槍やりが降ッ、人を
も行をますヨ、

「えうか、えうか、大急いでいるようだな
、先水じや明日朝から出るしするか、し

本当に山を所有されたいのですネ、本当に
良かった。天う神は見人おられたのだ、

予談↓、このときは、寺の女性とトラブッテ
いたから、新しい森が見つければ早く出入行

きたいのだから、私、心はサイユウ、に喜ん

でいたノ神はノ光ノ人にふさわしい答を出し
人トさるのだノ有難度ゆ座います。

多談レ しかしノ誠念なことはノ私に山を
負しんいる地主の人間性がノ変わっ人しまっ
たノ立場の弱し者をノ衆言べノ「ソレゆ人は
いけません。」借りた本人は感謝しんころり
です。

仙人はノ何にもせずにもこの森で一日が終
わりのを待っ人いるの心はないのですよ。

この森にまよされる方の行動をノ全人見ん

あります。ですからノどのようなべん持ち主
が良くわかります。だからとノ言っ人ノ「いち
いち及論はしなひです。」しばらく流れを観察
しんいをますノ

丸しんあまりにもノ人々心を傷付けよう
な場合にはノ行動に出るようにしんあります

。行動に出るといっ人もノ暴れに出るの心は
ないのでですぞ。誰かが実行心をなひ実践体

験活動を続け人培ったノ言葉の小道具が心の
心の引き出しに数多くの種類がノ出番を待っ

人つ人つこのような人にはこの引を押し
にしまつたある小道具こぎょうぐ(しやべり方また行動
)を使かいましたよう、。。。と、いうように
しんおりますが。でもネ、人の話を聞く耳みみ
をもたない者は、大変心あるが、時感をかけ
るしかたのようだ、。

私は実践作家として、事実のこころを心暖か
く綴つた、人々の、隠し事、陰蔽いんびつごとが、たの社会
こそが、豊かだ、安定した世の中になるべ
はないで、しようか、。。。。

忘れ人おりました、寺の女性には、人と人
の繋つながりをもつて、人ごただも、人生を学ばせ
んもらった、お礼を申し上げます。

また地室には、人面とは、こころ、あるべ
くはないか、いろいろと学ばせ、人ごただも、
お礼を申し上げます。